

高齢者福祉施設の

火災対応マニュアル



初期対応が肝心です！



日頃の訓練が命を救う！



監修：元東京消防庁消防総監
新井 雄治

17分 / DVD 60,000円(本体価格)+税

企画・製作・発売元 株式会社 教配

高齢者福祉施設の火災対応マニュアル

もし、火災が発生したら…。大切な命を守るためには、どうすれば良いのでしょうか。



深夜一人で宿直中に火災が発生した場合を例に、通報・初期消火・避難誘導・情報提供について、対処方法やポイントを説明していきます。一刻を争う事態に瞬時の判断が出来るかどうかで生死が分かります。それぞれの施設に合った訓練を定期的に行い、改善・工夫を重ねましょう。いざという時に対応出来ることが重要です。

通報

●火災発生区域の確認

自動火災報知設備の仕組みや火災発生区域を確認する手順を見ていきます。

●通報の仕方

火災通報装置による通報や自動火災報知設備との連動通報などについて説明します。



初期消火

●火元の特定

扉を開ける際には、姿勢を低くし、少しだけ開けて、煙が出ているかどうかを確認します。

●消防用設備について

消火器・消火栓の使い方やスプリンクラー設備について説明します。



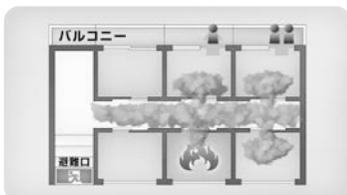
避難誘導

●煙への対応

少しでも煙から遠ざけるような場所に入居者を避難させます。また、防火戸・排煙設備を確実に機能させることが重要です。

●救出方法の一例

一人でも比較的楽に救出できる方法を紹介します。



情報提供

●消防隊への報告

施設の平面図や入居者名簿を提供することで、より確実な消火・救出活動が可能になります。火元の場所・救出状況・けが人の情報を正確に伝えます。



協力：東京消防庁 社会福祉法人 泉湧く家 千住スプリンクラー株式会社 株式会社横井製作所

2018年作品

●お申し込み・お問い合わせ

(株)オプチカル 販売課 教育映像係

香川県高松市屋島西町2484-8

TEL 087-841-1100

FAX 087-841-1101